

2020年5月11日

エヌ・デーソフトウェア株式会社

株式会社日立情報通信エンジニアリング

バイタル測定値の手書き記録・介護支援ソフトへの転記作業の自動化により、 介護スタッフの業務効率を向上

～「ほのぼのNEXT」と連携した「介護施設向けケア支援ソリューション」で働き方改革を支援～



「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」のバイタル情報連携イメージ

株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:岩崎 秀彦、本社:神奈川県横浜市)と、エヌ・デーソフトウェア株式会社(代表取締役社長:鳴坂 仁志、本社:山形県南陽市)は、体温計や血圧計、パルスオキシメーター*1などで収集したバイタル情報を「介護施設向けケア支援ソリューション」を介して、「ほのぼのNEXT」*2に自動転記する機能の提供を開始いたしました。

本機能により、これまで介護スタッフが行っていた介護支援ソフトへのバイタル情報の入力時間を削減できることから、介護スタッフの業務効率化を図ることができます。また、サービス付き高齢者住宅などの利用者が自ら計測した情報は、介護スタッフと接触することなく自動転記が可能となり、介護スタッフによる利用者の健康状態の把握と計測に必要な移動時間を削減することができます。

*1 「介護施設向けケア支援ソリューション」に接続可能なバイタル測定器は以下です。

- ・体温計: UT-201BLE、血圧計: UA-651BLE (株式会社エー・アンド・デイ)
- ・パルスオキシメーター: PLS-01BT (株式会社カスタム)

*2 「ほのぼの」シリーズは、42,500を超える導入実績があり、介護福祉ソフト分野で業界トップクラスの介護業務システムです。(2019年3月末 エヌ・デーソフトウェア株式会社調べ)

厚生労働省は介護事業所における業務時間の効率化により、利用者向き合う時間を確保することで、質の高いサービスを提供するためのICT導入を支援し、導入費用の一部を助成対象としています。*3

*3 2020年2月19日 厚生労働省提出資料「介護サービスの生産性向上に向けた取組」より一部要約引用

「介護施設向けケア支援ソリューション」は、見守りセンサーや排せつセンサーなどの各種センサーを活用し、統計情報の可視化、さらにはセンサー情報の判定結果を電話機などへ通知することで、介護施設におけるスタッフの働き方改革、利用者の安心・安全をサポートするソリューションです。

また、「ほのぼのNEXT」は介護の記録や請求業務の効率向上を実現する介護・福祉事業者向けのICT業務システムです。

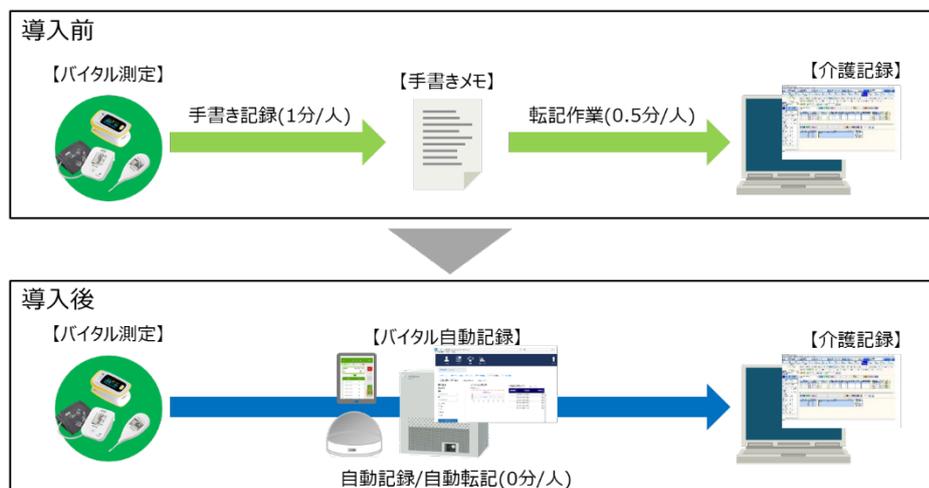
これまで、介護スタッフは利用者のバイタル測定時に、測定値を手書きのメモで記録し、事務所などPCが配備されている環境で、手書き記録から介護記録へ転記作業を行っていました。

「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」の連携で、手書き記録作業、転記作業の時間が削減され、介護スタッフの業務効率向上を実現し、さらに転記誤りや転記もれなどの人的ミスを防ぐことができます。

また、サービス付き高齢者住宅などの自立した利用者が多い施設では、介護スタッフと利用者は接触することなくバイタル情報も自動記録・自動転記が可能となります。これによりスタッフの施設内の移動時間を削減することが期待でき、さらには感染症に対するリスクを軽減することに役立ちます。

「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」との連携は、介護記録から請求作業まで自動で行うことができるため、行政が推進するICT活用事業の対象となります。

「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」の連携により、業務効率化ができる一例を以下に示します。



「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」連携の導入前／導入後の比較イメージ

「介護施設向けケア支援ソリューション」のバイタル自動記録により、手書き作業時間が利用者一人につき約1分削減でき、「ほのぼのNEXT」との連携により、転記作業時間が利用者一人につき約0.5分削減できます。これにより、利用者が100人の施設(バイタル測定回数1回/日)の場合、作業時間を約2.5時間削減でき、年間で約900時間削減することができます。

削減した時間で、利用者や介護スタッフ間のコミュニケーション時間や資格取得などの教育時間を確保することができ、介護の品質向上につなげることができます。

今後も株式会社日立情報通信エンジニアリングとエヌ・デーソフトウェア株式会社は、さらなる介護スタッフの業務効率改善と、利用者の安心・安全に向けた製品の提供を推進いたします。

■製品に関するホームページ

エヌ・デーソフトウェア株式会社 「ほのぼの NEXT」

<https://www.ndsoft.jp/product/next/>

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 「介護施設向けケア支援ソリューション」

https://www.hitachi-ite.co.jp/products/health_caresol/

■仕様・価格について

(1) 介護施設向けケア支援ソリューション

構成品 *4		内容	ご参考価格 (税別)	販売開始日	
主装置	日立データコレクション IC2000 *5	センサーから情報を収集するプラットフォームです。	1,554,000 円 ～	販売開始済	
受信機	BLE 受信機(1 台)	センサーからの情報を受信し、IC2000 へ送信します。	30,000 円		
ソフト	基本	IC ヘルスケア基本ソフト 50A *5	センサーから収集した情報の見える化や通知条件の設定を行います。また、外部接点入力により、ベッドセンサーシステムの接続が可能です。		180,000 円
	オプション	IC 排泄検知ライセンス A	排せつセンサーによる排せつ検知が可能となります。		200,000 円
		IC 温湿度検知ライセンス A	温湿度センサーによる温湿度検知が可能となります。		100,000 円
		IC バイタル自動登録ライセンス A	バイタル測定器(体温計、血圧計、パルスオキシメーター)の測定結果が自動登録できます。		400,000 円
		IC 体動検知ライセンス A	見守りセンサーによる利用者の在／不在検知が可能となります。		800,000 円
	IC 介護ソフト NDS 連携ライセンス A	センサー通知履歴、ナースコール／スタッフコール通知履歴が介護支援ソフト(エヌ・デーソフトウェア製)へ自動転記できます。	300,000 円		

- *4 BLE 受信機、アプリケーション画面表示用 PC、SE 費、工事費、センサーは含まれておりません。
センサーは当社提案品からお選びいただきます。また音声端末、音声端末の接続インターフェースは含まれておりません。
詳細は個別にお問い合わせください。
- *5 主装置に BLE 受信機を 50 台まで接続可能な場合のご参考価格です。

(2)ほのぼの NEXT

製品の仕様・価格については、エヌ・デーソフトウェア株式会社の問い合わせ窓口へお問い合わせください。

■商標に関する表示

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■お客さまお問い合わせ先

エヌ・デーソフトウェア株式会社
ソリューション事業部
〒992-0479 山形県南陽市和田 3369
電話:0120-945-597 (フリーダイヤル)

株式会社 日立情報通信エンジニアリング
UC ソリューション事業部 UC システム本部 UC パートナーソリューション部
〒220-6112 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB 12 階
お問い合わせフォーム:<https://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/>

■報道機関お問い合わせ先

エヌ・デーソフトウェア株式会社
経営企画部 経営企画課
〒992-0479 山形県南陽市和田 3369
電話:0238-47-3483 (直通)

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 経営戦略本部 経営企画部
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB 22 階
お問い合わせフォーム:<https://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
